

芳川小 太陽光で動いているよ エンジン、発電仕組み授業

LPガス販売のエンジン（浜松市中区）が、南区の芳川小学校で、太陽光パネルを使って発電の仕組みを教える授業をした。5年生



105人が、パネルを台の上に設置し、電力に変えて扇風機やCDラジカセを動かした。
住宅の屋根に使われる重

太陽光パネルを台に設置する児童たち。浜松市南区の芳川小で

さ18キのパネル4枚を使った。児童が協力して1枚ずつ傾斜のついた台に置き、ねじで固めた。パネルの直流電力を、家電に使える交流電力に変換する装置にコードでつなげて作業は完了。乗馬に似せた電動の乗り物が高速で動き、社員が「太陽光で動いているよ」と教えると歓声が上がった。

戸塚美琴さん(11)は「太陽光が電力に変わる仕組みがよく分かった」と喜んだ。環境問題を考えてもらおうと、同社は2013年から市内の小学校で授業を開く。

(高島碧)